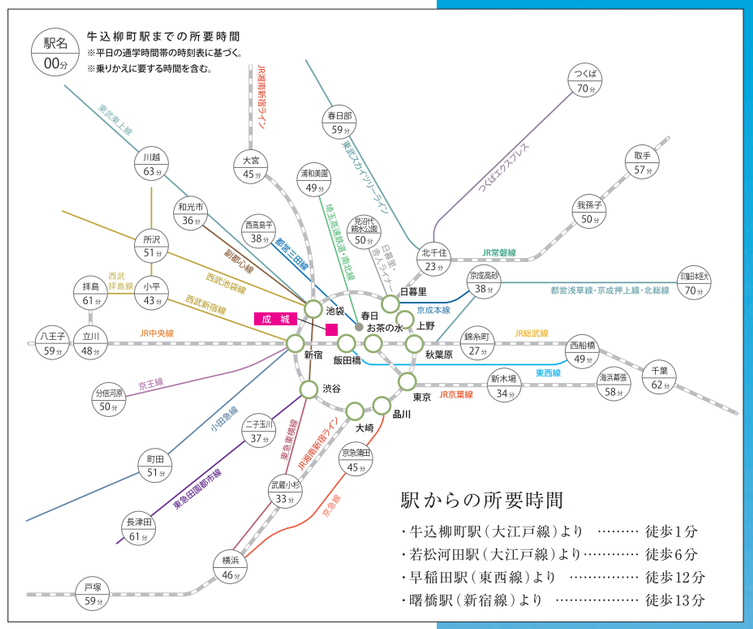
## ACCESS



# 2023年度説明会

【要予約】（本校公式サイトより申込）

〈学校見学会〉9:45～11:15

- 5月31日（水）
- 6月10日（土）
- 6月24日（土）

〈学校説明会〉9:45～11:15

- 9月27日（水）
- 10月14日（土）
- 10月28日（土）
- 11月 1日（水）
- 11月25日（土）

2024年

- 1月10日（水）

〈文化祭〉

- 9月16日（土）・17日（日）

※上記日程は変更になることがあります。
※詳細は本校公式サイトでご確認ください。

# 成城中学校・成城高等学校

SEIJO JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

学校案内2024


成城中学校・成城高等学校
SEIJO JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

〒162-8670 東京都新宿区原町3-87
TEL.03-3341-6141　FAX.03-3341-3165
https://www.seijogakko.ed.jp

# 受け継がれる伝統

## 臨海学校

成城には「あこがれ」という伝統があります。例えば、90年以上の伝統がある、臨海学校。

参加する中学１年生の命を守るために、高校２年生の各クラブの精鋭たちが指導の補助をしています。彼らは、泳ぎの指導だけでなく、安全な修技のために様々な業務をこなしてくれています。後輩のために、力強く働く先輩たちの姿は、中１のあこがれの存在。良い手本となっています。

成城は、絆を深め人間的に成長できる場であふれています。生徒たちは色々な先輩にあこがれながら、自己の個性と能力を伸ばし、自ら考え行動する次世代を担うリーダーに育っていきます。

# 次世代のリーダーの育成

グローバルスタディズ・プログラムにて

## グローバル・キャリア教育

グローバル化が進む世界で20年後30年後の時代を担っていく生徒たちには、「自己の確立」をうながす新たなリーダー教育が必要です。

本校には、そのための様々な研修プログラムがあります。OBとのつながりを活用したキャリア講演会やグローバル研修など、多種多様な活動を通じて、生徒たちは職業観や自己の表現力を養い、自身のキャリアを考えるうえで、多くの刺激を得ることでしょう。

成城では、これからの時代をたくましく生きる人間力の高いリーダーを育成しています。

**グローバルスタディズ・プログラム**

カリフォルニア大学など、世界のトップ校の学生を本校に招いておこなう、自己確立のための研修です。（希望者対象）

**グローバルリーダー研修**

オーストラリアと台湾で行われます。グローバル社会におけるリーダーシップについて考える機会となります。（希望者対象）

**キャリア講演会**

OBや外部講師を招いて講演会を実施しています。生徒の職業観を養い、今後のキャリア形成について考える機会となります。

**ニュージーランド・ターム留学**

高１で校内選考をおこない、ニュージーランドにてホームステイをしながら、現地校に１学期間通学します。（希望者対象）

# 成城の6年間

中学1年生　中学2年生

## 基礎学力養成期

学力均等のクラス分け

※習熟度別の授業はなし

### 自学自習を促す

学習習慣の確立には、目標を設定すること、自ら計画を立て時間を適切に管理することなどが求められます。うまくいかないことや失敗することも想定しつつ、対話を重視したきめ細かい指導をおこなっています。他律的な学習から、自律的な学習に切り替えられるように促します。

## 挑戦と失敗

中学3年生　高校1年生

## 進路　決定期

学力均等の　クラス分け

※習熟度別の授業はなし

### 自分を知り、世　界を知る

より勉強したい生徒向け　の発展講座や進学講習、異文化に興味を持つ生徒　向けのグローバル研修が始まります。様々な機会　が設けられており、それらを自ら選択すること　で、やり抜く力が身につきます。未来の履歴書の　作成や、OB講演会などは、自分の将来を考える　きっかけとなります。

## やり　抜く力

高校2年生　高校3年生

## 実力完成期

文系／理系のクラス分け

※一部の科目で習熟度別授業

### 他者に影響を与える存在に

学校行事や生徒会活動、部活動などでリーダーシップを発揮する機会がふえます。他者に影響を与える存在としての自覚が生まれ、将来の目標が明確になっていきます。自らが希望する進路を実現するために、授業や進学講習を通じて、実力の完成を目指します。

## 希望する進路実現

# 成城の教科教育

## 国語科

### ことばを豊かにする

国語という教科は、日常的に使うことばを相手にする教科です。そのため、あらゆる教科の基礎となるものだといえます。また、人間が学習し、知識を得、ものごとを考え、なにかを創りだすために、ことばは最も大切な道具です。じぶんというものをつくっていく分身のようなものでもあります。ことばが豊かな人は、学習においても、人生においても、豊かなものを得られるでしょう。国語の学習を通じて、豊かなことばを身につけてほしいと思います。

PICK UP

#### 学校図書館と連携した授業

国語では図書館と連携した授業をおこなっています。本の専門家である司書と組むことで、教科書にとどまらない授業を展開するためです。授業を通じて、図書館や司書を身近に感じ、授業外でも積極的に本（ことば）に触れてほしいとも考えています。

## 数学科

### 数学の面白さ・論理的思考力を学びとる

中学では「代数」「幾何」「統計」の３分野に分けて並行して授業を展開しています。特に「統計」においては、高校の教科「情報」との関連性も高いため、情報科とコラボレーションして週１時間で授業を展開しています。週３時間の「代数」と週２時間の「幾何」においては、数学史や自然の中の数理的な現象も扱い、数学への興味や探究心を喚起しています。

高校では、様々な単元を通じて論理的思考力を養い、問題の答案として表現するための記述力を修練していきます。

PICK UP

#### 文系理系合同の入試対策演習

高３では教科書を終えた単元から順次、入試対策演習をおこなっています。大学入試方式の多様化に対応し、文系も理系と同じ演習を受講できるようにしています。習熟度別のクラス編成で、共通テスト対策から最難関大学対策までを幅広くカバーしています。

## 英語科

### 基礎からじっくり ４技能を向上させる

小学校での学習到達度に関わらず、本校では全員同じスタートラインから学習を始めます。中学ではネイティブスピーカーと日本人教員による英会話の授業を各学年週１時間でおこなうなど、４技能（聞く・話す・読む・書く）をバランスよく習得させていきます。

高校では大学入試も視野に入れ、「英語は使うことによって習得できる」ということを意識させながら、英語力・コミュニケーション能力を総合的に向上させることを目指しています。

PICK UP

#### ネイティブスピーカーによるライティングの授業

高１・高２において、ネイティブスピーカーによるライティングに特化した授業を週１単位でおこなっています。自分の意見やその根拠などを英語で発信できることを目標とし、添削をおこなうことにより、より多くの英語表現が定着するように指導しています。



## 理科

### 実験や観察を通じて「ホンモノ」に触れ、科学的な考え方を身につける

中学では「物理・化学分野」を扱う「理科１」と、「生物・地学分野」を扱う「理科２」に分けて授業を展開しています。様々な理科の知識を講義で学ぶだけでなく、実験や観察を数多くおこない、身近に起こる現象についての理解を深め、自然に対する興味・関心を育てています。

高校では「物理」「化学」「生物」「地学」の４分野に分かれ、より高度な知識や技能を学習し、難関大学入試問題に対応できる力を養います。興味の幅をさらに広げ、科学的な考え方の完成を目指します。

PICK UP

#### 生き物に関するレポートの作成

中１を対象に、興味を持った生き物に関するレポート作成をおこなっています。テーマの設定や実験・観察方法の考案をして、結果・考察までをまとめ上げます。レポートは文化祭期間に貼り出され、来場者に評価してもらうため、どのようなレポートが人を惹きつけるかを考える機会にもなっています。

## 社会科・地理歴史科・公民科

### 総合的な知を身につけ、社会を見つめる

中学では１・２年で歴史的分野と地理的分野、３年で公民的分野を学びます。それぞれ特色を持つ分野ですが、最終的な目標は共通です。それぞれの視点から、過去から現在に至るまでの様々な社会事象を学ぶことで、分野をこえた総合的な知を身につけることを目標としています。

高校ではより幅広い知識を習得するとともに、本格的な論述問題に対応するための授業も設定されています。また、夏期と冬期に開講される進学講習では、生徒の興味関心を引き出すため、座学にとどまらない多種多様な講座が開講されています。

PICK UP

#### 環境地図の作成

中１・中２の生徒を対象に、自分でテーマを設定し、調べ、結果を考察するための環境地図の作成をおこなっています。実際に現地に足を運び五感を通じて感じることの大切さも伝えており、生徒の学びのモチベーションにつながっています。

## 保健体育科

### 伝統を継承する

保健では「健康とは何か」ということを大きなテーマとして、身体や心、飲酒、喫煙、薬物、感染症、医療制度など横断的に幅広く学びます。心身ともに健康に生活をしていくために、また日常生活を送るうえで知っておくべき知識や技術を身につけます。

体育では運動技術やルールを基礎・基本から段階的に学び、高３では道具の準備や審判も含め、生徒自身による試合運営を目指します。また、中学運動会での中３による「成城体操」や高２の「臨海学校補助員」など、伝統を後輩へ受け継いでいく指導をおこないます。

## 技術家庭科

### 〈技術科〉ものづくりを通じて、「豊かな心」を養う

素材に働きかけ、自己の知識や技能を最大限に利用して物をつくる。先人の知識を尊び、無駄を省き、資源を大切にする。そのような豊かな心を養うことを目指しています。具体的には、製図、木材加工、金属加工、栽培、電気実習、情報実習などをおこないます。

### 〈家庭科〉日常をより楽しく

中学では衣・食を中心に、高校ではより深い学びにつなげるための基礎的知識の習得を目標としています。高校では食・住・法律を主なテーマとして、分野ごとに関わりのある他教科の要素も取り入れることで広い視野を持った自立した人材の育成を目標としています。

## 芸術科

### 〈音楽科〉「感性と創造力」・「自ら気づく力」を育む

授業では歌・合奏・鑑賞・楽典を中心に生涯教育としての音楽を学ぶと同時に、様々な要素を含む音楽を通じて、「自ら気づき表現できる感性」と「創造力」を育み、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けることのできる視点を養います。

### 〈美術科〉世の中の現象を造形的に考える

絵を描いたり、彫刻をつくったり、デザインを考えたり、動画を編集したりしながら、世の中の現象を造形的に考えることによって、これからの自身の生活を豊かにしたり、豊かな心を育めるような体験をしてもらいたいと思っています。

## 情報科

### Society 5.0 で実現される社会への対応

中高一貫校の特色を生かして、情報科と数学科が協働する「数学統計」という授業を中１で週１時間設定しています。この授業では、実際のデータに対して生徒自身が表計算ソフトを活用することで、データサイエンスを体感できるようにしています。合わせて、情報モラルやリテラシーについても時間をかけて指導しています。

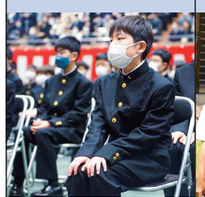
高校では、大学入試に教科「情報」が課されるようになることを見越して数年かけてカリキュラムを編成してきました。高１で週２時間設定している「情報Ⅰ」では、プログラミングやデータ分析についての実習時間を多く確保しています。また、高３でも週１時間、共通テスト対策の授業を選択できるように設定しています。

# 成城の行事 ～ 年間行事紹介 ～

本校では行事も大切な学習機会と考えています。
林間学校・臨海学校を、全国に先駆けて開設したのも本校であり、
今日までその伝統は脈々と受け継がれています。

※日程は変更になることがあります。

## 4 APRIL

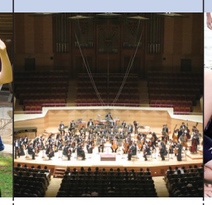


・入学式・始業式・対面式
・新入生オリエンテーション
・新入生歓迎会

## 5 MAY

・春季校外課業（遠足）
・５月考査（中間試験）
・春の中学行事（中学）
・プール開き

## 6 JUNE



・実用英語技能検定（高３）
・春の視聴覚行事
・進路講演会（高２）

## 7 JULY

・７月考査（期末試験）
・体育祭（高校）
・臨海学校（中１）
・林間学校（中２）
・発展講習（中３）
・夏期進学講習（高校）

## 8 AUGUST

・各クラブ夏期合宿
・グローバルスタディズ・プログラム
（中３～高２希望者）

## 9 SEPTEMBER

・文化祭

## 10 OCTOBER

・運動会（中学）
・10月考査（中間試験）
・秋の中学行事（中学）

## 11 NOVEMBER

・マラソン大会
・秋の視聴覚行事

## 12 DECEMBER

・12月考査（期末試験）
・発展講習（中３）
・冬期進学講習（高校）
・スキー学校（中２希望者）

## 1 JANUARY

・創立記念日
・講座制授業（高３）
・実用英語技能検定
（中１～高２）
・ニュージーランド・ターム留学
（高１希望者。４月まで）

## 2 FEBRUARY

・入学試験

## 3 MARCH

・３月考査（期末試験）
・修学旅行（中３・高２）
・中３を送る会（中学）
・中学・高校卒業式
・修了式
・オーストラリア・グローバルリーダー研修
（中３～高２希望者）
・台湾・グローバルリーダー研修（高１・２希望者）

## ◎ 行事PICK UP

### 中学行事（社会科見学）

年２回、中間試験の翌日におこないます。本校周辺の大学や研究施設、博物館や美術館を班で散策し、感性や地図を見る力を育みます。

### 体育祭（高校）

生徒会が運営する学年別クラス対抗の球技大会です。最後には全員リレーをおこないます。クラスの親睦を深める絶好の機会になっています。

### 林間学校（中2）

大正７年に開設された伝統行事です。林業体験などに加え、近年では農村のご家庭にお邪魔しています。人と自然の関わりを学びます。

### 文化祭

生徒たちが主体となって運営し、クラス企画や、文化部の研究発表、運動部の招待試合、有志団体など、全生徒が参加する大きな行事です。

### 運動会（中学）

中学３学年が７チームに分かれて競います。中学生が主体となって競技プログラムを考えたり、準備設営をおこなったりしています。

### 修学旅行（中３・高２）

３泊４日で実施され、歴史・文化・自然を学びます。高校では複数コースから選択することもあります。近年では沖縄・関西・九州・中国地方でおこなっています。

## 成城生の1日

戸佐 環
中3・141期生

好きな教科は国語。
科学部に所属。

１日の時間割（例） １時限目 数学 ／ ２時限目 理科 ／ ３時限目 体育 ／ ４時限目 社会 ／ お昼休み ／ ５時限目 美術 ／ ６時限目 英会話 ／ ホームルーム・掃除 ／ 部活動

登校

～8:20

都営大江戸線牛込柳町駅から徒歩１分。信号の無い落ち着いた通学路です。

ホームルーム

8:30～8:40

朝、担任の先生から出席のチェックを受けてから、１日が始まります。

午前の授業（理科）

8:40～12:30

実験室で鳥の心臓の解剖中です。戸佐君のスケッチは秀逸です。

昼休み

12:30～13:10

早弁で食事を済ませ、仲の良い友達と談笑しています。

午後の授業（美術）

13:10～15:00

ステンドグラスの着色をしています。みんな真剣そのものです。

ホームルーム・掃除

15:00～15:25

帰りのホームルームの後は、掃除です。大切な教室を自分たちできれいに。

部活動（科学部）

15:30～

放課後は科学部に参加。先輩に教わることがたくさんあります。

# 多彩なクラブ活動

## 運動部

| | | | |
|---|---|---|---|
| 中学硬式テニス部 | 柔道部 | 高校硬式テニス部 | 山岳部（高校のみ） |
| 中学サッカー部 | 水泳部 | 高校サッカー部 | 自転車競技部（高校のみ） |
| 中学バスケットボール部 | 体操部 | 高校相撲部 | |
| 中学バレーボール部 | 卓球部 | 高校バスケットボール部 | |
| 中学野球部（軟式） | 陸上競技部 | 高校バレーボール部 | |
| 剣道部 | バドミントン部 | 高校野球部（硬式） | |

## 文化部

| | | |
|---|---|---|
| 囲碁部 | 吹奏楽部 | |
| 演劇部 | 速記部 | |
| 科学部 | 地理研究部 | |
| 合唱部 | 鉄道研究部 | |
| 写真部 | 美術部 | |
| ジャグリング部 | 放送部 | |

## 同好会

| | |
|---|---|
| 中学相撲同好会 | スキー同好会 |
| 古典ギター同好会 | 釣り同好会 |
| 将棋同好会 | 文芸同好会 |
| 数学研究同好会 | 歴史研究同好会 |

**先輩**

**小林 耀**

2023年卒・137期生
陸上部　前副部長
早稲田大学 人間科学部
健康福祉科学科 入学

**後輩**

**大道 壮唯**

高3・138期生
陸上部 部長

SEIJO
STORIES

卒業する先輩が、大学入学前にOBとして活動に参加して、現在の部長に思いを託しました。

# 「先輩」×「後輩」

大道：先輩卒業おめでとうございます。思い出すと、僕が中１の頃の夏合宿で、先輩とは一気に仲良くなりましたよね。最初は緊張してたんですが、先輩のほうから気さくに話しかけてくれて。

小林：そうだったね。陸上部は先輩後輩関係なく、フレンドリーな雰囲気があるよね。中高６年間同じメンバーで、中１の頃から高３の先輩が関わってくれて、縦のつながりが強い部活動だよね。あとOBの方とのつながりも強くて、大学で陸上をやっている方が教えにきたり、大会を見にきてくれたりすることもある。年齢関係なくいろんな人と一緒に練習して強くなれる環境があるのが良いところだよね。

大道：強くなるうえで、先輩後輩の仲が良いっていうのは良いところですよね。

小林：大道とは毎日一緒に練習していたな。先輩後輩でお互いにアドバイスし合う良い雰囲気とか、メリハリある練習の雰囲気をしっかり受け継いでいってね。

大道：お互いにアドバイスし合う関係は重要ですね。高校生になると、たくさん走り込んだり、筋トレをしたりしていてもタイムが伸びなくなってくる。後輩には自分だけで抱え込むのではなく、仲間に意見をもらいながら、自分の走りを完成形に近づけてほしいですね。

小林：そうだね。だから陸上は個人競技だけど、集団でやっていくことに意味があるんだよね。切磋琢磨できる関係性の中で、自分を磨けるってところが６年間継続的に活動できる陸上部の良さなのかな。ところで、来年は受験だけど、勉強の調子はどう？

大道：徐々に勉強のギアを上げてます。先輩の代が文武両道を実践していたので、部長として後輩にしっかり背中を見せたいと思っています。部活の目標としては100ｍ10秒台があって、志望校合格と両立させながら、文武両道を実践したいです。

小林：勉強と両立して部活も引退までやり切るってところが陸上部の良さだと思うから。圧倒的な練習量で大変だとは思うけど、中途半端になってほしくない。勉強も部活も精一杯やってほしいな。陸上部は大会が多くて、自分の体のコンディションに気を配らないといけないよね。大会から逆算して、アップやストレッチのメニューを決めたり、時には疲労を抜いたりする。この考え方って学校のテストや模試の準備にも生きると思うんだよね。

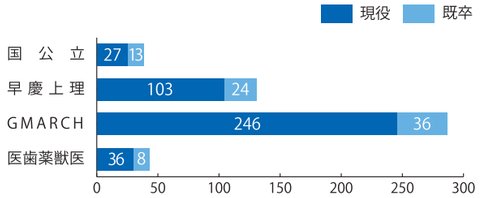
大道：なるほど。確かに、逆算して自分のベストなコンディションを大会でどう出すかは考えますね。

小林：この逆算思考は、受験勉強にもいいよね。１日単位でもできるし、週単位でもできる。年単位で逆算して、勉強も部活でも結果を出してね。中１から今まで、辛い練習をこなしてきた自分の忍耐力に自信を持ってほしいかな。部活も勉強もやり切ってね！

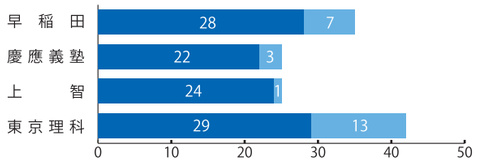
大道：アドバイスありがとうございます。後悔をしないように全力でやっていきたいと思ってます。

# 進学状況

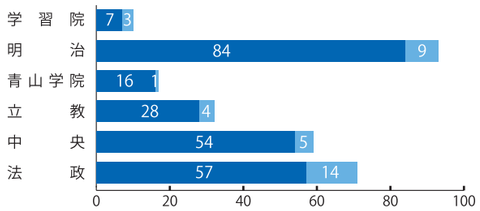
2023年
## 主要大学の合格状況（卒業生253名）



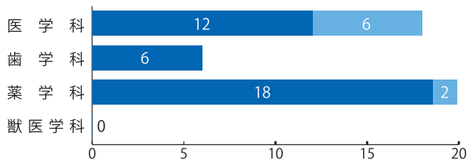

### ● 早慶上理




### ● GMARCH




### ● 医歯薬獣医学科




| 現役合格率 | 現役進学率 |
|---|---|
| 88.5% | 79.4% |

| 早稲田・慶應 | 国公立大学 |
|---|---|
| 60名（現役50名） | 40名（現役27名）<br>※大学校2名を含む |

| | |
|---|---|
| 東京大学　2名（現役2名） | 東北大学　3名（現役2名） |
| 東京工業大学　1名（現役1名） | 名古屋大学　1名（現役1名） |
| | 九州大学　2名（現役1名） |

## 2023年 指定校推薦

| 大　学 | 推薦枠 | 進学者 |
|---|---|---|
| 早稲田 | 5 | 5 |
| 慶應義塾 | 1 | 1 |
| 上智 | 3 | 3 |
| 東京理科 | 8 | 0 |
| 学習院 | 9 | 0 |
| 明治 | 3 | 2 |
| 青山学院 | 2 | 1 |
| 立教 | 1 | 1 |
| 中央 | 9 | 5 |
| 法政 | 4 | 1 |
| 同志社 | 3 | 1 |
| 立命館 | 1 | 0 |
| 医学部医学科 | 3 | 0 |
| 歯学部歯学科 | 9 | 1 |
| 薬学部薬学科※6年制 | 13 | 0 |
| その他 | 389 | 1 |
| 合計85大学 | 463 | 22 |

## ◎ 卒業生より

高2の秋に本格的に第一志望の大学を決めました。高3までは定期テストで良い点を取ることを目標に、普段から授業をしっかり聞き、その復習としてノートにまとめたり、問題集を解いたりしていました。授業の進度に合わせて基礎を固めることで、いつの間にか模試でも良い点が取れるようになっていました。高3になると授業中の演習がふえ、難易度の高い問題を解くことで自分の実力が上がっていることに気づきました。同時に、自分の不得意な分野がわかり、自習の指針を立てることができました。

鹿田 陽斗　2023年卒・137期生　東京大学 理科二類 入学

**先生**
松風 要平
数学科教諭
高3時担任

**卒業生**
石川 巧弥
2023年卒・137期生
群馬大学 医学部 医学科 入学

SEIJO STORIES

志望していた医学部を国公立受験だけに絞って合格した卒業生が、担任の先生を訪ね、これまでの受験生活の振り返りを語ってくれました。

# 「卒業生」×「先生」

松風：合格おめでとう。僕は高3で石川の担任をしたけど、医学部医学科を志望したのはいつくらいからなんだっけ。

石川：きっかけは、中1の理科の解剖実験が面白かったことです。座学で学んだ体の構造などを実際に自分の目で確かめられるという、知識と体験が初めて重なったような感覚がありました。医者というのは、そういうのが直結するような職業なんだろうなと、しかも人を助けられるなんて魅力的だなと思って医学部に興味を持ちました。

松風：実際に進学先として考え始めたのはいつ？

石川：高校生になって受験を意識するようになって、成城の「未来の履歴書」で将来を考える機会があって、医学部を目指すんだという意思が固まりました。前から医学部に行きたいと親に相談していて、私立はちょっとお金が厳しいかもと言われていたので、目指すなら国公立っていうのが頭の片隅にありました。

松風：国公立だけだとほぼ1発勝負だけど、よく合格を勝ち取ったね。石川は結構気持ちの浮き沈みがあるなと思っていて、それが受験にどう影響するのかなって、心配する面もあったんだけど、学校生活でうまくやれていたのかな。

石川：マイナスな気持ちの時ほど、周りの友達が大切だなって。学校には友達もいるし、受験という大きな目標を共有している人たちが周りにいたので、そういう面で持ち直せたりしたのかなと思います。一人じゃ気持ちが持たなかったですね。

松風：最後まで模試の成績はあまり良くなくて、結果を見て面談した時はよく落ち込んでいたよね。

石川：そうですね（笑）。成績を見た日は落ち込んだりしたので、気持ちの浮き沈みが激しいと見られていたと思います。ただ、翌日に引きずらないようにしていました。少しでも前に進まなきゃという気持ちでしたね。医学部を目指すのはかなり厳しい道だと頭では理解していたので、立ち止まっていられないという感覚で勉強していました。模試では安心する結果が出なかったですけど、どうせ本番の前のテストだと割り切って。その結果で諦めてたまるかという感じでした。

松風：なるほどそうだったんだね。日ごろの表情を見ていて心配していたけど、僕が思っている以上に強い気持ちを持っていたんだね。共通テストの結果も思わしくなかったけど、結果を見て志望を変更することなんかは考えなかった？

石川：共通テストのリサーチ結果が悪いのは覚悟していましたね。ただ、ここで諦めたら将来後悔するだろうなと思いました。結果がどうであろうと、どうせやるなら全力でいう気持ちでした。本当に前を向いていましたね。一本道をまっすぐ走る覚悟でした。共通テストっていう、模試とは全然違う本番という経験が、浮き沈みのあった自分を変えたんだと思います。

松風：確かに。リサーチ結果を返した時の石川の表情は明るかったね。「もうやるっきゃないな」というか、一歩乗り越えた表情だったのかなと思ったよ。

石川：松風先生との面談で思い出すのが「不安なことは書き出せ」と言われたことです。受験に対する不安への対処の仕方がよくわからなかった時に、自分の心の中を書き出して表現するという、自分との新しい向き合い方を学ぶことができました。

松風：いい結果が続く時は、それで波に乗れていくんだろうけど、結果が悪かった時も「やるっきゃないな」と割り切る。その力は今後も生きていくんだろうなと思うよ。いい経験ができたね。合格本当にすごいと思う。いい話も聞けたね。あらためて、おめでとう。

石川：ありがとうございます。これから寮生活も始まりますが、学業と寮生活の両立がんばります。

# 施設・設備

## ◎ PICK UP

### ICT化に対応した設備

ホームルームの全教室にプロジェクターが設置されており、Wi-Fi環境が整備されています。様々な資料を画面で見せたり、電子黒板として書き込んだりと、授業での表現力が向上しています。

また、Google Classroomを活用したオンライン授業体制も構築されており、オンラインによるホームルームや、授業のライブ配信などが可能です。

## ■ 職員室

本校には、生徒とのコミュニケーションを重んじ、対話を通じて生徒を指導していく独自の文化が根づいています。そのため職員室は、対話する場としての機能を十分に果たせる設計になっています。全学年の教員がひとつの職員室内におり、各学年に生徒と対面できるカウンターが設置されています。さらに、テーブルとイスを備えた質問コーナーや、周囲の視線を気にせずに相談できる面談室も４室設置されています。休み時間や放課後になると大勢の生徒が職員室を訪れます。

### グラウンド

ゴムチップ入りの人工芝に加え、陸上競技用のタータンコースも完備。

### 体育館

バスケットボールコートが２面とれ、観覧席もある大きな体育館。式典でも使用。

### サブグラウンド

正門を入ると広がる砂入り人工芝の多目的グラウンド。

### 地下体育室

体操器具や音響機材を備え、授業では跳び箱やマット運動、卓球などで使用。

### 屋上

人工芝のコースとテニスコート１面を完備。

### 柔道場・剣道場

本校の武道は柔道を履修。
※写真は柔道場。

### 温水プール

25ｍ×６コースの屋外温水プール。５月末～９月末まで使用。

### 普通教室

冷暖房・加湿・熱交換換気・$CO_2$センサー・調光機能・プロジェクターを完備。

### 特別教室

物理・化学・生物・地理地学・音楽・美術・技術・調理・パソコンなど、専門教室を完備。

### 小講堂

講演会や保護者会、映画の上映など、幅広い用途で活用する545席の講堂。

### イングリッシュ・ルーム

グループワークをしやすい机と発表用のステージとスクリーンを設置。

### 図書館

蔵書数３万５千冊。放課後は18時閉館。
※冬期は17時閉館。

### カフェテリア

自然光の入る清潔感と開放感のある198席の食堂。軽食も販売。

### 自修館（自習室）

職員室と進路指導室と同じフロアにあり、学習や進路の相談がしやすい学習環境。

### 面談室・カウンセリング室

カウンセリング室では、スクールカウンセラーが成長過程における様々な悩みに対応。

# STUDENTS' VOICES 【Q：どんな成城生活を送っていますか？】

福宮 友樹　高3・138期生
生徒会長

## 自分で伸びていける環境がある

成城には、自分を「伸ばす」ための環境が整っていると思います。例えば、学友会や生徒会活動は、生徒を中心に運営されており、主体性を身につけることができます。これは、校訓である「自治自律」にもつながるものです。各々の目標に向けて日々努力する周囲の存在も、きっと良い刺激となることでしょう。また、学校生活の中で、壁にぶつかることもあるかもしれません。そんな時は、ぜひ先生方や上級生を頼ってください。声をかけ、励まし、そして背中を押してくれるはずです。

貴重な中高6年間をぜひ成城で過ごしてみてください。入学当初には想像もできないような、新たな自分の姿が見つかると思います。

生徒一同、ご入学をお待ちしております。

マイッツァ豪　高3・138期生
高校バスケットボール部 部長

## 文武両道を実践する

バスケットボール部では、技術の向上やチームワークを学ぶだけでなく、マナーや礼儀を大切にしながら、日々の活動を頑張っています。具体的には、部活の始まりと終わりの挨拶、顧問の先生や先輩に対する言葉づかい、チームに関わってくださる方々への感謝など、普段の生活では意識しづらい、礼儀やマナーの大切さを学ぶことができます。

また、日々の部活動により時間や体力の影響で勉強時間に制限がかかりますが、その限られた環境の中で目標を持って勉強をするうちに、自然と成城の精神である文武両道を実践することができます。

皆さんも部活動を通じて「文武両道」を目指してみませんか。

斉藤 柚良　高2・139期生
ニュージーランド・ターム留学1期生

## 本物に触れて自分に磨きをかけていく

中3の時に学校代表として「英語弁論大会高円宮杯」に出場したことがきっかけで、海外や留学への思いが強くなり、ターム留学に挑戦しました。ニュージーランドでは、毎日現地校に通い、必修科目の他に園芸やビジネスなども勉強しました。放課後や週末には、ホストファミリーと料理をしたり、クリケットチームに所属し、練習や試合に参加したりと、充実した日々でした。留学を通じて英語への関心がより高まったことで、さらに語学力を磨いていきたいと思いました。卒業後は留学制度が整っている大学への進学を希望しています。

留学で触れた多様性に対する考え方を発信し、人種差別などのない世界をつくることに貢献できる人になりたいと考えています。

荒井 陽路　武藤 圭吾　今井 瑛太
中2・142期生・中学野球部

## 野球を通じていろいろなことを学んでいます

野球部の活動は休まずに参加することを大切にしています。楽しいことだけではなくつらいこともありますが、チームメイトの同級生や先輩のおかげで頑張ることができています。入学したばかりの1学期は授業についていくことや、部活動に慣れていくことが大変だったりしました。しかし2学期からは慣れてきたので、勉強との両立を意識して、工夫して計画を立てるようになりました。

2年生になったので、もっと野球がうまくなりたいことはもちろんですが、活動を通じて学んだ学校生活での礼儀やマナーにも気をつけていきたいと思います。先輩からもいろいろなことを教わったので、自分たちもそれを後輩へ伝えていきたいと思います。



# GRADUATES' VOICES 【Q：成城生活はどのようにいきていますか？】

滝井 康平　2023年卒・137期生
東京工業大学 理学院 入学

## 何かに没頭する力

小学生の頃から一人で何かに没頭して作業をすることが好きでした。この何かに没頭する力を更に伸ばすことができたのは、成城の校訓にもある「自学自習」の精神のおかげだと思っています。在学中に友人から数学を題材にした本を紹介され、そこから数学にのめり込んでいきました。その時も、成城で培われた何かに没頭する力を使って、自ら率先して勉強していきました。そして、大学でも数学を学んでいきたいと思い、志望校を決定しました。なので、僕が大学に合格できたのも、成城で中高6年間過ごすことができたからだと思います。

大学でも成城で得た自学自習の精神と仲間とのつながりを武器に、さらに柔軟な発想力を身につけ、今までとは比べものにならないほど広大で、複雑な社会の中で歩んでいきたいです。

横山 諒　2007年卒・121期生
京都大学 理学部卒／Max Planck Institute for Plant Physiology,Researcher

## 世界へ広がる自学自習の精神

今の私が存在するのは成城のおかげだと胸を張っていえます。自学自習の精神の下、大好きな先生方のサポートを受け、在学中は興味のあった化学や生物の力を存分に伸ばすことができました。京都大学理学部に進学、博士号取得後は米国・ウィスコンシン大学に留学し、現在はドイツ・ベルリンにあるマックスプランク研究所で、気候変動や食糧問題の解決に向けた植物の光合成研究に邁進しています。研究者となった今でも、成城時代から継続している自学自習の姿勢は必要不可欠なものです。生徒の積極性を尊重しサポートしてくれる環境を最大限活用し、成城生がどんどんと世界へと羽ばたいていくことを願っています。

川村 岳人　1997年卒・111期生
上智大学 法学部卒／立教大学 コミュニティ福祉学部 准教授

## 多様な経験が人生に豊かさをもたらす

自由な校風の中で6年間を過ごしました。常に先生方が見守ってくださっていたからこそ、自分の興味や関心に沿っていろいろな挑戦をすることができたように思います。そんな学生生活を通じて私が学んだことは、様々な経験の組み合わせが自分の強みやオリジナリティになっていく、ということでした。大学教員となった今も、研究活動をめぐる重要な決断をする際はこのことを思い出すようにしています。

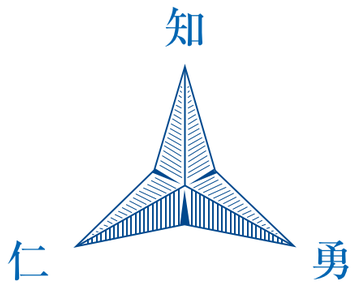
また学生と接する際も、かつて私を導いてくれた中学・高校の先生方のように、彼ら／彼女らが失敗を恐れず、主体性を存分に発揮できるような関わりを心がけています。

佐藤 可士和　1983年卒・97期生
多摩美術大学 グラフィックデザイン科卒／クリエイティブディレクター

## 人生最大のターニングポイント

僕の人生で最大のターニングポイントは高校2年生の時だ。当時、大学への進路が見えないままボンヤリと友達と過ごす高校生活だった。進路指導で文系か理系に分かれるということだが、行きたい先が見つからず悶々としていた。子供の頃から絵を描くことが大好きで得意だったのだが、それと大学受験が自分の中で結びついておらず、勝手に文系か理系のどちらかを選ばなければならないと思い込んでいた。学年で一人だけ美術大学を受験するという友人がおり、彼に相談すると、今まで全く思い浮かばなかった美大受験という道が見えてきた。突然の希望の光！これからのことを想像するとワクワクした。それが人生最大の決断で、その日からクリエーターになる道を歩み始めた。高2の時に感じたそのテンションは、今も変わらない。

# 校章「三光星」




「三光星」の意味するところは
儒教において
基本的な三つの徳とされる
「知・仁・勇」である。

中国の古典『中庸』の「知・仁・勇の三者は達徳なり」より。

## 校　訓

自学自習　質実剛健

敬愛親和　自治自律

## 「成城」の由来

校名の「成城」は中国の古典『詩経』大雅編にある「哲夫成城」からとったもの。哲夫とは知徳のすぐれた男子。成城の城は国を指し、国を成すの意。したがって本校の建学の精神は、知徳のすぐれた男子を育て、国家・社会に貢献する人材を輩出することである。明治18（1885）年に日高藤吉郎によって創立された本校は、平成27（2015）年１月15日に130周年を迎えた。

## ◎ 牛込と成城

本校が立つ「牛込」は新宿区の地域名のひとつ。旧東京市牛込区の範囲を指します。神楽坂や早稲田も牛込に該当し、江戸時代は多くの武家屋敷が軒を連ねる山の手の住宅街でした。

1885年に中央区築地に創立された本校がこの地に移転してきたのは1891年のこと。上皇陛下の外祖父にあたる久邇宮邦彦王が本校に入学されたことをきっかけに、宮内省（現在の宮内庁）から牛込原町の地（現在の校地）を下賜（かし）されました。

牛込には台地が多く、台地の上にある本校の標高は30ｍあまりです。この土地は関東ローム層の強固な地盤でできており、関東大震災に見舞われた際にも、本校の建物にはほとんど影響がなかったと記録が残っています。

また、牛込は夏目漱石などの多くの文豪に愛された土地でもありました。本校の近くにある「夏目坂」は、夏目漱石の生家がこの坂の途中にあったことから名づけられました。漱石自身の随筆である「硝子戸の中」においても、この坂の名前の由来が語られる一節があります。

1913年頃～1970年にかけ、本校近くの大久保通りに都電角筈線（都電13系統）という路面電車が走っていました。最盛期には、新宿から本校・飯田橋・御茶ノ水・秋葉原・人形町を通り水天宮前までを結んでいましたので、本校の生徒もこの都電を利用し、通称「13番」と呼ばれ親しまれていました。

1891年に本校がこの地に根づいて教育に励むようになって、130年もの月日が流れています。

通学にも使われていた都電13系統

# 伝統を礎に、さらなる革新へ

成城中学校・成城高等学校　校長

## 岩本 正

**創立以来「社会に有為な人材を育成する」という建学の精神が受け継がれてきました。**
**成城が目指す生徒像は、校章「三光星」が象徴している「知・仁・勇」を備えた男子リーダーです。**

**知** 深い読みのできること　**仁** 相手の立場に立って考えられること　**勇** 勇気をもって決断できること

本校では、文武両道主義の下、高い人間力とやり抜く力を備えた生徒の育成を目指しています。脈々と受け継がれるその理念を基に、中高完全一貫校である利点を生かし、変化する社会や、多様な大学入試に対応したカリキュラムを構築するとともに、ここ数年で大きく変化した教育のICT化やグローバル化にも対応していきます。

この変化の大きい時代に、多様な人と協働し問題を解決していくためには、自分の考えを様々な手段により表現することが求められます。６年一貫教育の中、中学生から表現力を育むカリキュラムにより、自分の内面に向き合い、自治自律の精神を育成していきます。そして、実際に多様な人との関わりを持つために、国外に出て現地の人々と対話することのできる「オーストラリア・グローバルリーダー研修」「台湾・グローバルリーダー研修」「ニュージーランド・ターム留学」などを展開し、生徒たちの視点を一段階引き上げることを目指しています。

文武両道の伝統ある男子校で、夢中になれることを見つけて、それを探究し続けていける男子を求めています。